和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第11号
2020年9月10日

２年普通科総合的な探究の時間 中間発表会（３）

地域防災分野は課外活動棟２階で、和歌山大学の此松先生に指導助言をいただきました。６人ずつ７班に分かれての発表で、最初は普段と違うメンバーを前にして緊張していた生徒たちでしたが、発表回数を重ねるごとに班の雰囲気も柔らかく、質疑応答も活発になっていきました。発表原稿の他に、写真など提示するものを持って来ている生徒、原稿にとらわれず残り時間を見て臨機応変に発表を組み立てる生徒、積極的に質疑応答を行う生徒などがいる中で、互いが刺激を受けながら発表を行っていました。

地域防災　班別テーマ一覧

A01	津波と地震からの犠牲者ゼロを目指すために！
A02	簡易トイレの重要性！
A03	非常食の大切さ（台風・水害）
A04	過ごしやすい避難所に
A05	液状化を知ろう
B01	耐震に優れる家の構造と最善の家具の配置
B02	環境と生物と災害の関係
B03	南海トラフの津波について
B04	各家庭内・各地域の備蓄の心がけと防災グッズの必要性

生徒の学び

考えたこともなかった観点への質問によって得られた新しい発想
２年１組　岩﨑俊介

今までは同じ班内だけでしか意見交換をしてこなかったけれど、今回、全く別の班の人と話し、質問を得、それを班で共有することによって、新しい考え方を生み出すことができた。たとえば、液状化現象が起こる条件や、それが発生したときの道路状況、そこに居合わせた人が取るべき行動等に着目する考え方である。また、自分たちの活動は校内発表だけで終えるのではなく、地域の人に向けてもすべきという教えをいただいた。これらの新鮮な意見を踏まえて、次からの本格的な活動に取り入れていきたい。

いろいろな視点から考えているひとがいること。改善すべき点やいただいたアドバイスは、次の活動に繋がること。
２年４組　中田純鈴

防災グッズといってもたくさんあるし、時と場合によって要るものや要らないものがあるから、それらを区別していくことが必要だということ、また、日高川町に新しく立派な防災センターができているから、そこに訪問してみるのもよいということを教授からアドバイスいただきました。

発表会では他班の発表を聞いて、もっと視点を変えて考えてみるのも良いと気づくことができました。アンケートについても、家庭で調査するのは確実で良いと言っていただけたので、実行しようと思いました。